



墨田

区議会だより

第 40 号

発行 昭和59年 7月21日
発行所 墨田区議会事務局
〒130 墨田区横網一の6-1
電話 626-3151(大代表)

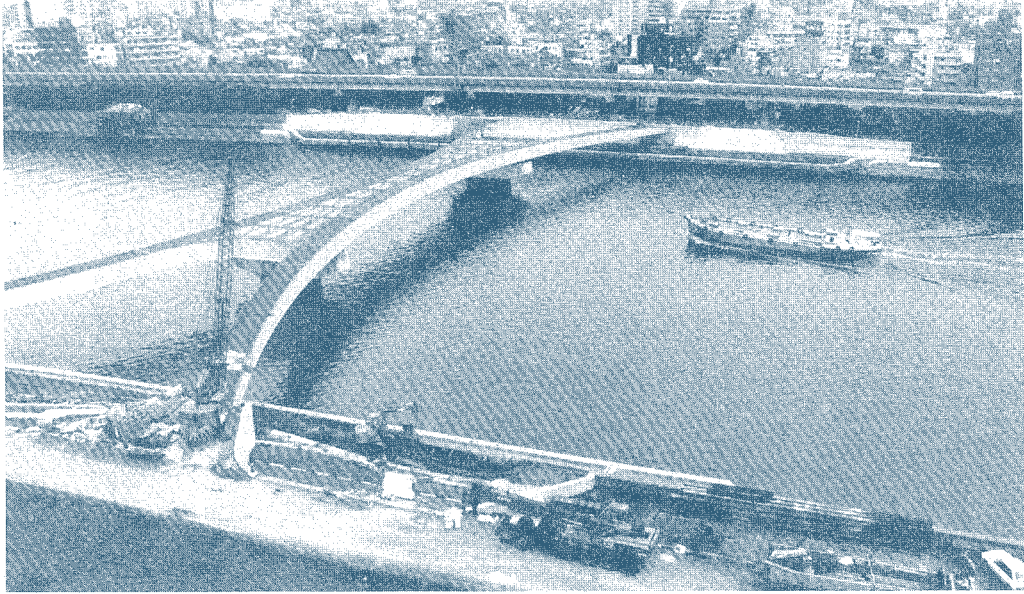
第2回定例会

新しく正副議長を選出

議長 長 瀧 澤 良 仁氏
副議長 長 西 原 文 隆氏

墨田区議会は、昭和五十九年第二回定例会を、六月十九日から二十八日までの十日間にわたって開きました。今定例会では、正副議長を新しく選出し、また常任委員会委員の交代、特別委員会の一部委員交代に伴い正副委員長が新しくなりました。そして、新庁舎建設に関する調査報告のほか、区長提出議案十九件、議員提出議案一件を議決しました。

本会議第一日の十九日は、始の議員が、特別区制度改正、集間に会期を二十八日までの十日間と決定し、引き続き一般質問と決定し、引き続き一般質問を行いました。自由民主党、公明党、新自由・民社クラブ、二十日には、自由民主党から一日本共産党の四会派から各一名の議員が区行政の効率的執行



来年3月の完成をめざす歩行者専用橋「桜橋」

討していくことを決定しました。また、陳情二件は、総務委員会に審査を付託しました。

全会一致で意見書議決

定例会最終日、二十八日の本会議では、各常任委員会に付託していた議案の審議を行い、付託議案中十四件については全会一致で、三件については起立表決を行い賛成多数で、いずれも委員会審査報告どおり可決しました。また、陳情四件については討論を行い、起立表決の結果賛成多数で委員会審査報告どおり可決しました。

次に、一年の任期が満了した常任委員会の委員を選任し、続いて五つの特別委員会も一部委員の交代を行いました。

新に常任委員会委員を選任

一年間の任期が満了した各常任委員会の委員を今定例会の最終日、六月二十八日に、新しく選任しました。正副委員長と委員名は次のとおりです。

総務委員会(十名)

委員長 〇副委員長
樋口 丈吉 〇佐藤 四郎
木内 清 坂下 修
小池 武二 西 恭三郎
松野 弘子 村瀬 政幸
柴田 昌男 青山 政雄

建設委員会(十名)

〇中山 満 〇甚野 緑
堺 美穂子 熊谷 利之
坂岸 榮治 武ノ内啓次郎
大和久常雄 西原 文隆
湯本 令二 原 正義
〇厚生文教委員会(十名)
〇小早川恵子 〇加藤 耕造
渡辺 良 乙津 一行
〇山崎 政吾 〇西 恭三郎

民生衛生委員会(十名)

〇樋口 丈吉 〇佐藤 四郎
〇木内 清 〇坂下 修
〇小池 武二 〇西 恭三郎
〇松野 弘子 〇村瀬 政幸
〇柴田 昌男 〇青山 政雄

環境委員会(十名)

〇中山 満 〇甚野 緑
〇堺 美穂子 〇熊谷 利之
〇坂岸 榮治 〇武ノ内啓次郎
〇大和久常雄 〇西原 文隆
〇湯本 令二 〇原 正義
〇厚生文教委員会(十名)
〇小早川恵子 〇加藤 耕造
〇渡辺 良 〇乙津 一行
〇山崎 政吾 〇西 恭三郎

民生衛生委員会(十名)

〇樋口 丈吉 〇佐藤 四郎
〇木内 清 〇坂下 修
〇小池 武二 〇西 恭三郎
〇松野 弘子 〇村瀬 政幸
〇柴田 昌男 〇青山 政雄

「婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する条約」の早期批准を求める意見書(要旨)

一九七九年の国連総会で、男女平等を目的とした「婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する条約」が採択され、わが国もこれに署名した。しかしながら、いまだにこの条約が批准されていないことは、極めて遺憾であるといわざるを得ない。今日、働く婦人の社会的役割が増大しているにもかかわらず、雇用、配置、昇進などの各分野において、必ずしも平等とはいえない状況にある。よって、政府においては、真の男女平等の精神を踏まえ、国内関係法の整備を積極的に促進すると共に、同条約の早期批准を強く要望する。

内閣総理大臣、労働大臣 あて

請し、新庁舎建設用地の確保を

特別委員会委員の一部交代

五つの特別委員会の一部の委員が交代し、それに伴い各特別委員会の正副委員長も次のよう

建設委員会(十名)

〇中山 満 〇甚野 緑
〇堺 美穂子 〇熊谷 利之
〇坂岸 榮治 〇武ノ内啓次郎
〇大和久常雄 〇西原 文隆
〇湯本 令二 〇原 正義
〇厚生文教委員会(十名)
〇小早川恵子 〇加藤 耕造
〇渡辺 良 〇乙津 一行
〇山崎 政吾 〇西 恭三郎

請願・陳情の審査結果

採択としたもの

〇「婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する条約」の早期批准に関する陳情
〇「政治法」制定反対に関する陳情
〇「トマホーク配備反対」「非核墨田宣言」決議等に関する陳情

〇「不採択としたもの」
〇「トマホーク配備反対」「非核墨田宣言」決議等に関する陳情

就任にあたって

墨田区議会議長 瀧澤 良 仁

これまでの厳しかった社会経済情勢も、ようやく明るさが見えてきました。区内の小企業の景況も回復基調にあります。一方、区政においては簡素・合理化を徹底し、区民の期待に応えた行政を行っていくことが、ますます求められています。

このような状況の中、私は去る六月二十八日の本会議において、多くの先輩、同僚議員のご推挙により、区議会議長という要職に就任いたしました。区政の現状は、桜橋、中小企業センター、ボランティアセンター等の建設、あるいは長寿健康顕彰事業、心身障害者自立生

